



地域研究集会

第 53 回北洋研究シンポジウム
近年の噴火湾における海洋環境と漁業資源の変動

日 時：2025 年 3 月 7 日（金）13:00–17:00

会 場：函館市港町 3 丁目 1 番 1 号 北海道大学 水産学部/水産科学院/水産科学研究所（現地開催のみ）

後 援：公益財団法人 北水協会

コンビーナー：高津哲也（北大院水）・板谷和彦（函館水試）・阿部泰人（北大院水）

参加登録：<https://forms.gle/RFgrQm9oWwpRTqVA8>（締切：2025 年 2 月 28 日（金）17:00）

問合せ先：takatsu@fish.hokudai.ac.jp

挨拶：木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会長） 13:00–13:10

趣旨説明：高津哲也（北大院水） 13:10–13:20

座長：高津哲也（北大院水）

1. 噴火湾の海洋構造と貧酸素水塊の消長 13:20–13:50

阿部泰人（北大院水）・三木智尋（北大水）・大西広二・大木淳之・高津哲也（北大院水）

2. 噴火湾の春季ブルーム直前の栄養塩起源 13:50–14:20

崔 天暢・大木淳之（北大院水）

3. 海洋観測から見られた近年の噴火湾における海洋環境の特徴 14:20–14:50

鈴木祐太郎（函館水試）

休憩 14:50–15:10

座長：板谷和彦（函館水試）

4. 2023 年秋季に発生した貧酸素水塊が底生生物に及ぼした影響 15:10–15:30

高津哲也・阿部泰人・大木敦之・中屋光裕・石川智也・松本涼太郎（北大院水）・坂岡桂一郎（北大水）

5. 噴火湾における底魚資源の変動 15:30–15:50

武藤卓志（函館水試）

6. 噴火湾における甲殻類資源の変動 15:50–16:10

渡野邊雅道（栽培水試）

7. 噴火湾におけるホタテガイ養殖と海洋環境 16:10–16:30

夏池真史（函館水試）

休憩 16:30–16:40

【総合討論】 座長：高津哲也（北大院水）

8. 今後どのような調査研究が必要か 16:40–17:00

開催趣旨：噴火湾はカレイ類やスケトウダラ、エビ類などの底生漁業資源が豊富な海域であり、沿岸域ではホタテガイ養殖が盛んである。この噴火湾における道総研および北大の海洋環境および漁業資源に関する調査は、1970 年代から本格化し、現在も継続している。これらの研究により、噴火湾内の海水は 1 年の中で暖流と寒流が入れ替わるダイナミックな海水交換が生じる一方で、例えば 1995–1997 年には夏季の噴火湾中央部において底層水中の溶存酸素量が低下する現象などが確認されている。また 2023 年秋季には湾内の表層水温は過去最高を記録し、湾内最深部の比較的広範囲に貧酸素水塊が発生した。本シンポジウムでは、まずこの 2023 年の貧酸素水塊の成因を検討し、湾内の漁業資源にどのような影響を及ぼしたのか解明を試みる。そして、今後の環境保全とモニタリングのあり方について議論する。